添付資料１　産婦人科医師調査依頼状

２００３年１１月

各位

厚生労働省厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業
「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」
主任研究者　中村好一
（自治医科大学公衆衛生学　教授）

「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する調査」に対するご協力のお願い

拝啓　時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は昨年度より厚生労働省の研究班を組織し、わが国における快適な妊娠や出産を支援する基盤整備に関する研究を進めています。ご承知の通り、国は「健やか親子２１」を示し、その中の重点項目の一つに本研究班の課題も取り上げられており、本研究班の成果は厚生労働省の担当課（雇用均等・児童家庭局母子保健課）も注目しているところです。

この研究班は次のメンバーで構成されています。

主任研究者：中村好一（自治医科大学公衆衛生学教授）
研究協力者：岡井　崇（昭和大学医学部産婦人科学教授）
戸田律子（日本出産教育協会主催、NPO 法人いいお産プロジェクト）
北井啓勝（埼玉社会保険病院産婦人科部長）
林　公一（国立下関病院産婦人科医長）
三砂ちづる（国立保健医療科学院疫学部室長）
柴田眞理子（東京都立保健科学大学看護学科助教授）　（順不同）

本調査の対象は日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会の名簿から、無作為に選ばせたいただきました。

本調査は同封の調査票の通り、妊娠・出産に対して専門職が提供する医療、サービス、指導などの実態と、考え方を明らかにすることを目的としております。回答には匿名性が保証されておりますので、現場の実態と、考え方をお聞かせいただければ幸いです。

回答の匿名性を保証するために、多少お手数をおかけいたしますが、次のような手順でお願いいたします。

（１）本調査にご協力いただける場合

１．同封の調査票にご記入の上、返信用封筒を利用してご返送ください。
２．これとは別に、同封の葉書（こちらには連絡先と氏名を記載させていただいております）にて、調査票を送付した旨をご連絡ください。この葉書は調査票返信用の封筒とは別に投函してください。

（２）本調査にご協力いただけない場合

ご面倒をおかけいたしますが、同封の葉書でご協力いただけない旨をご連絡ください。調査票などは廃棄していただいて構いません（葉書をご返送いただければ、後はご返送いただく必要はありません）。

以上、お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、勝手なお願いですが整理の都合上、１２月５日までにご返送くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

記

同封物

１．本調査への依頼状（本状）
２．調査票
３．調査票返送用封筒
４．連絡用葉書（必ずご返送願います）

本調査に関する照会先、および調査票等返送先

「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」班　事務局

〒３２９－０４９８　栃木県河内郡南河内町薬師寺３３１１－１
自治医科大学公衆衛生学教室　気付

電　　　話：０２８５－５８－７３３８
ファクシミリ：０２８５－４４－７２１７

添付資料２　産婦人科医師調査票

快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する調査　調査票（医師用）

この調査は厚生労働省厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」（主任研究者：中村好一［自治医科大学公衆衛生学教授］）の一部として実施しているものです。匿名でご記入いただいた回答を統計的に処理するだけですので、忌憚のないご意見をお聞かせください。

Ｉ．まず、先生ご自身のことについてお聞かせください。

Ｉ－（１）勤務先の所在地　（　　　　　）都道府県　（都道府県名のみお答えください）

Ｉ－（２）性別　１．男　２．女

Ｉ－（３）年齢　（　　　　）歳

Ｉ－（４）医籍登録年　１．昭和　２．平成　（　　　　　）年

Ｉ－（５）先生の主に従事している施設及び業務の種類についてお答えください。
（複数の勤務先がある場合には、主なもの一つのみお答えください）

診療所	１．診療所の開設者または法人の代表者 ２．診療所の勤務者
病院（医育機関付属の病院を除く）	３．病院の開設者または法人の代表者 ４．病院の勤務者
医育機関	５．医育機関の臨床系の教官または教員 ６．医育機関の臨床系の勤務者で５以外の者または大学院生 （医員、臨床研修医、臨床系の大学院生、その他） ７．医育機関の臨床系以外の勤務者または大学院生
老人保健施設	８．老人保健施設の開設者または法人の代表者 ９．老人保健施設の勤務者
上記以外の施設	１０．医育機関以外の教育機関または研究機関の勤務者 １１．行政機関の従事者 １２．行政機関を除く保健衛生施設の従事者
その他	１３．その他の業務の従事者 １４．無職

Ｉ－（６）主に従事している施設の運営形態はどれですか。

１．国公立の施設（国民健康保険の施設を含む）
２．公的な施設（国民健康保険団体連合会、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生［医療］農業協同組合連合会、社会福祉法人北海道社会事業協会）
３．私的な施設

Ⅱ．先生ご自身にとって、妊娠・出産・産褥のケアについての最新情報を得る機会がどの程度提供されていると思いますか？

１．全く提供されていない　２．あまり提供されていない　３．多少は提供されている
４．かなり提供されている　５．充分に提供されている

Ⅲ．現在、お仕事として出産を取り扱っていますか。

１．出産を取り扱っている　→　Ⅳ以下の質問にもお答え願います。
２．出産を取り扱っていない　→　最後のページの質問Ⅵに移動してください。

Ⅳ．先生の提供する妊娠・出産・産褥のケアを改善するために重要な事は何ですか？
重要と思われる項目を２つ、ご記入下さい

１　施設の設備上の環境　２　施設のスタッフの数　３　施設のスタッフの質
４　施設のスタッフの有効活用　５　施設の運営（経済的）改善　６　来院する患者の質
７　世の中の誤った情報の改善　８　患者との充分なコミュニケーション
９　診療報酬システムの見直し　１０　医師養成システムの改善　１１　搬送システムの改善
１２　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

V．快適な妊娠や出産を実現するために、次の２０の事項について、先生のお考えと先生の施設での実態をお聞かせください。

項目	実施に対する賛否 1．賛成である 2．賛成しない	重要性に対する考え方 1．重要ではない 2．あまり重要ではない 3．比較的重要である 4．きわめて重要である	先生の関わった妊娠・出産での実施割合 （最近６か月、概ねの数字で構いません） 1．全く行わなかった 2．２０％以下 3．２０～５０％ 4．５０～８０％ 5．８０％以上 6．全症例	先生がこの処置を実施する（あるいは実施しない）際に考慮する事項はどれですか （２つまで挙げてください） 1．妊産婦の身体状況 2．児の身体状況 3．妊産婦の希望 4．妊産婦の夫（または夫婦）や家族の希望 5．医療訴訟対策または危機管理 6．上司（最高責任者の場合はご自身）の信念に基づく方針 7．施設の（スタッフの総意による）方針 8．エビデンスに基づいた方針 9．経済効果 10．円滑な診療や、スタッフの有効活用	今後の方針について、お聞かせください 1．積極的に進めていく 2．現状を維持 3．減らしていきたい
妊娠中毒症予防のための食事（塩分など）の制限をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
早産予防のためにベータ刺激剤（リトドリンなど）を使用する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
子宮頸管熟化のためにプラステロン硫酸ナトリウム（マイリスなど）を投与する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
子宮頸管熟化のためにプロスタグランディンを経口投与する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
骨盤計測のために妊娠後期、または陣痛開始後Ｘ線撮影をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
分娩のための入院時に浣腸を実施する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
児頭採血はせずに連続的に分娩監視装置を装着する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常に経過する分娩第二期に産婦に対して静脈点滴をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常に経過する分娩第二期に産婦を仰臥位にする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
分娩第三期にオキシトシンではなくエルゴメトリンを使用する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
産婦の希望に従って娩出時の体位を決める	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
砕石位による分娩を行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
ルーチンに会陰切開を行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
会陰縫合の際に通常の皮膚縫合よりも縫合数を１針多めに行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常な新生児の胃内容物の吸引を行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常分娩後すぐに母子同室を開始する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常な分娩後、母子の接触を制限する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常な新生児に人工乳を補充する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
出産後、通常の母乳開始前に水分補給（白湯、糖水など）をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
授乳時間を定めずに乳児が欲しい時に欲しがるだけ母乳を与える	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3

Ⅵ. わが国では多くの妊産婦が理想の快適な妊娠・出産を実現できていると思いますか。

1．思う　　　→　質問Ⅶへ行って下さい
2．思わない
　　↓　（次の質問にもお答えください）

その理由はなんですか。大きな理由と思われるものを３つ挙げてください。

1．人手不足　　2．多忙　　3．廉価な医療費
4．訴訟対策　　5．卒前教育の不備　　6．卒後教育の不備
7．組織の長の理解不足　　8．組織のスタッフの理解不足　　9．設備の不足
10．医療従事者の熱意不足
11．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ⅶ. 快適な妊娠・出産を実現するために必要と思われること、あるいは実現に向けた具体的な方策など、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。

この調査票は同封の封筒で１２月５日までにご返送願います。それとは別に調査にご協力いただいたことを示す葉書も同時に投函願います。

本調査に関する照会先、および調査票返送先

「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」班　事務局

〒３２９－０４９８　栃木県河内郡南河内町薬師寺３３１１－１
自治医科大学公衆衛生学教室　気付

電　　話：０２８５－５８－７３３８
ファクシミリ：０２８５－４４－７２１７

添付資料３　助産師調査依頼状

２００４年２月

各位

厚生労働省厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業
「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」
主任研究者　中村好一
（自治医科大学公衆衛生学　教授）

「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する調査」に対するご協力のお願い

拝啓　時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は昨年度より厚生労働省の研究班を組織し、わが国における快適な妊娠や出産を支援する基盤整備に関する研究を進めています。ご承知の通り、国は「健やか親子２１」を示し、その中の重点項目の一つに本研究班の課題も取り上げられており、本研究班の成果は厚生労働省の担当課（雇用均等・児童家庭局母子保健課）も注目しているところです。

この研究班は次のメンバーで構成されています。

主任研究者：中村好一（自治医科大学公衆衛生学教授）
研究協力者：岡井　崇（昭和大学医学部産婦人科学教授）
戸田律子（日本出産教育協会主催、NPO 法人いいお産プロジェクト）
北井啓勝（埼玉社会保険病院産婦人科部長）
林　公一（国立下関病院産婦人科医長）
三砂ちづる（国立保健医療科学院疫学部室長）
柴田眞理子（東京都立保健科学大学看護学科助教授）　（順不同）

本調査の対象は日本母性衛生学会の許可を得て、会員名簿に助産師として登録されている方の中から無作為に選ばせたいただきました。

本調査は同封の調査票の通り、妊娠・出産に対して専門職が提供する医療、サービス、指導などの実態と、考え方を明らかにすることを目的としております。回答には匿名性が保証されておりますので、現場の実態と、考え方をお聞かせいただければ幸いです。

回答の匿名性を保証するために、多少お手数をおかけいたしますが、次のような手順でお願いいたします。

（１）本調査にご協力いただける場合

１．同封の調査票にご記入の上、返信用封筒を利用してご返送ください。
２．これとは別に、同封の葉書（こちらには連絡先と氏名を記載させていただいております）にて、調査票を送付した旨をご連絡ください。この葉書は調査票返信用の封筒とは別に投函してください。

（２）本調査にご協力いただけない場合

ご面倒をおかけいたしますが、同封の葉書でご協力いただけない旨をご連絡ください。調査票などは廃棄していただいて構いません（葉書をご返送いただければ、後はご返送いただく必要はありません）。

以上、お忙しいところ恐縮ではございますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、勝手なお願いですが整理の都合上、**２月２７日**までにご返送くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

敬具

記

同封物

１．本調査への依頼状（本状）
２．調査票
３．調査票返送用封筒
４．連絡用葉書（必ずご返送願います）

本調査に関する照会先、および調査票等返送先

「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」班　事務局

〒３２９－０４９８　栃木県河内郡南河内町薬師寺３３１１－１
自治医科大学公衆衛生学教室　気付

電　　　話：０２８５－５８－７３３８
ファクシミリ：０２８５－４４－７２１７

添付資料４　助産師調査票

快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する調査　調査票（助産師用）

この調査は厚生労働省厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」（主任研究者：中村好一［自治医科大学公衆衛生学教授］）の一部として実施しているものです。匿名でご記入いただいた回答を統計的に処理するだけですので、忌憚のないご意見をお聞かせください。

Ⅰ．まず、あなたご自身のことについてお聞かせください。

Ⅰ－（１）勤務先の所在地　　（　　　　）都道府県　（都道府県名のみお答えください）

Ⅰ－（２）年齢　　（　　　）歳

Ⅰ－（３）助産師（婦）登録年　　１．昭和　２．平成　（　　　　）年

Ⅰ－（４）あなたの主に従事している施設についてお答えください。

１．病院
（ア．病棟　　イ．外来　　ウ．その他）

２．診療所
（ア．有床　　イ．無床）

３．助産所
（ア．開設者　　イ．従事者　　ウ．出張のみによる者）

４．訪問看護ステーション
（ア．管理者　　イ．従事者）

５．介護保険施設等
（ア．介護老人保健施設　　イ．指定介護老人福祉施設［特別養護老人ホーム］
ウ．居宅サービス事業所　　エ．居宅介護支援事業所）

６．社会福祉施設
（ア．老人福祉施設　　イ．児童福祉施設　　ウ．その他）

７．保健所又は市町村
（ア．保健所　　イ．市町村）

８．事業所

９．看護師等学校・養成所又は研究機関

１０．その他

Ⅰ－（５）主に従事している施設の運営形態はどれですか。

１．国公立の施設（国民健康保険の施設を含む）
２．公的な施設（国民健康保険団体連合会、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生［医療］農業協同組合連合会、社会福祉法人北海道社会事業協会）
３．私的な施設

Ⅱ．あなたご自身にとって、妊娠・出産・産褥のケアについての最新情報を得る機会がどの程度提供されていると思いますか？

１．全く提供されていない　２．あまり提供されていない　３．多少は提供されている
４．かなり提供されている　５．充分に提供されている

Ⅲ．現在、お仕事として出産を取り扱っていますか。

１．出産を取り扱っている　→　Ⅳ以下の質問にもお答え願います。
２．出産を取り扱っていない　→　最後のページの質問Ⅵに移動してください。

Ⅳ．あなたの提供する妊娠・出産・産褥のケアを改善するために重要な事は何ですか？
重要と思われる項目を２つ、ご記入下さい

１　施設の設備上の環境　　２　施設のスタッフの数　　３　施設のスタッフの質
４　施設のスタッフの有効活用　　５　施設の運営（経済的）改善　　６　来院する患者の質
７　世の中の誤った情報の改善　　８　患者との充分なコミュニケーション
９　診療報酬システムの見直し　　１０　医師養成システムの改善　　１１　搬送システムの改善
１２　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）

V．快適な妊娠や出産を実現するために、次の２０の事項について、あなたのお考えとあなたの施設での実態をお聞かせください。なお、ご自身で行っていない項目についてはお答え頂く必要はありません。

項目	実施に対する賛否 1．賛成である 2．賛成しない	重要性に対する考え方 1．重要ではない 2．あまり重要ではない 3．比較的重要である 4．きわめて重要である	あなたの関わった妊娠・出産での実施割合（最近６か月、概ねの数字で構いません） 1．全く行わなかった 2．２０％以下 3．２０～５０％ 4．５０～８０％ 5．８０％以上 6．全症例	あなたがこの処置を実施する（あるいは実施しない）際に考慮する事項はどれですか（２つまで挙げてください） 1．妊産婦の身体状況 2．児の身体状況 3．妊産婦の希望 4．妊産婦の夫（または夫婦）や家族の希望 5．医療訴訟対策または危機管理 6．上司（最高責任者の場合はご自身）の信念に基づく方針 7．施設の（スタッフの総意による）方針 8．エビデンスに基づいた方針 9．経済効果 10．円滑な診療や、スタッフの有効活用	今後の方針について、お聞かせください 1．積極的に進めていく 2．現状を維持 3．減らしていきたい
妊娠中毒症予防のための食事（塩分など）の制限をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
早産予防のためにベータ刺激剤（リトドリンなど）を使用する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
子宮頸管熟化のためにプラステロン硫酸ナトリウム（マイリスなど）を投与する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
子宮頸管熟化のためにプロスタグランディンを経口投与する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
骨盤計測のために妊娠後期、または陣痛開始後X線撮影をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
分娩のための入院時に浣腸を実施する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
児頭採血はせずに連続的に分娩監視装置を装着する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常に経過する分娩第二期に産婦に対して静脈点滴をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常に経過する分娩第二期に産婦を仰臥位にする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
分娩第三期にオキシトシンではなくエルゴメトリンを使用する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
産婦の希望に従って娩出時の体位を決める	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
砕石位による分娩を行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
ルーチンに会陰切開を行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
会陰縫合の際に通常の皮膚縫合よりも縫合数を1針多めに行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常な新生児の胃内容物の吸引を行う	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常分娩後すぐに母子同室を開始する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常な分娩後、母子の接触を制限する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
正常な新生児に人工乳を補充する	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
出産後、通常の母乳開始前に産後すぐに水分補給（白湯、糖水など）をする	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3
授乳時間を定めずに乳児が欲しい時に欲しがるだけ母乳を与える	1　2	1　2　3　4	1　2　3　4　5　6	1　2　3　4　5　6　7　8　9　10	1　2　3

Ⅵ. わが国では多くの妊産婦が理想の快適な妊娠・出産を実現できていると思いますか。

1．思う　　　→　質問Ⅶへ行って下さい
2．思わない
　　↓　（次の質問にもお答えください）

その理由はなんですか。大きな理由と思われるものを３つ挙げてください。

1．人手不足
2．多忙
3．廉価な医療費
4．訴訟対策
5．卒前教育の不備
6．卒後教育の不備
7．組織の長の理解不足
8．組織のスタッフの理解不足
9．設備の不足
10．医療従事者の熱意不足
11．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ⅶ. 快適な妊娠・出産を実現するために必要と思われること、あるいは実現に向けた具体的な方策など、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。

この調査票は同封の封筒で　月　日までにご返送願います。それとは別に調査にご協力いただいたことを示す葉書も同時に投函願います。

本調査に関する照会先、および調査票返送先

「快適な妊娠・出産を支援する基盤整備に関する研究」班　事務局

〒３２９－０４９８　栃木県河内郡南河内町薬師寺３３１１－１
自治医科大学公衆衛生学教室　気付

電　　　話：０２８５－５８－７３３８
ファクシミリ：０２８５－４４－７２１７